

「ワールドカフェで練馬のまちを語ろう！」を開催しました！

平成 24 年 11 月 4 日（日）の午後、練馬区職員研修所で、カフェのような雰囲気の中、『練馬のまちの今やこれから』について語り合いました。

練馬区では、区が目標とするまちの将来像などを描いた「都市計画マスタープラン」の見直しを平成 24 年度からの 3 年間で行うこととしており、その一環として実施したものです。

5 つのテーマについてそれぞれテーブルを用意し、「今はどうなってる？、これからどうなったらいい？、そのためには何をやったらいい？」について話し合いました。参加者が複数のテーマについて意見を言えるように、ワールドカフェという方式を用いて、時間を区切ってテーブルを移動してもらいました。

練馬まちづくりセンターのまちづくり活動助成事業の中間報告会に合わせて実施し、活動助成団体のメンバーやまちづくりに関心のある方々 13 団体、約 30 名に参加いただきました。

いただいたご意見は、都市計画マスタープラン見直しの内容を検討するための資料としていきます。

出された意見・要望

まちでの移動

- ・商店街の道路が狭く、歩行者、自転車、自動車が混在して危ないので、安全で安心して買い物できる環境になるといいと思います。
- ・住宅地内の通過交通や駐停車が多いので、子どもや高齢者が安心して歩ける環境がほしいです。
- ・路面が平らでなかったり、歩道が狭かったりして車イスが通りづらいため、高齢者・障害者が安心して移動できるまちにしてほしいです。
- ・自転車については、放置自転車が多いところがあるので、駐輪場の整備や、タウンサイクルの活用をさらに進めてほしい。また、自転車用道路の整備などもしてほしい。

災害への備え

- ・東日本大震災以降、地域のつながりを望んでいる人が増えています。その意向を防災活動につなげていけるとよいと思います。
- ・災害については情報がなかったり、いろいろな情報が錯綜していたりして、判断が難しくなっています。正確な情報が、広く周知されることが大事だと思います。
- ・地震に弱い建物が多く、狭い道も多いため、災害に弱いという実情を多くの人に知ってほしいです。
- ・建物と建物の間にゆとりがなく、災害時の延焼の危険性が高い場所もあるので、災害に強いまちにしていきたいと思います。

みどり・水・農

- ・住宅のみどりが住んでいる人の高齢化などによって手入れができなくなり減少しているように思う。みどりに関して若い人も参加できるような世代を超えたつながりを持てるような仕組みづくりが望まれます。
- ・公園には、遊具があってもみどりは少ないので、もっとみどりを増やしてほしい。
- ・公園の手入れを住民が担う際に、ボランティアなどが参加しやすい環境をつくってほしいです。
- ・農地が著しく減少しています。農地を地域の「宝・資源」と捉える考え方を広め、地域で農地について考えていけるような仕組みづくりがほしいです。

まちなぎわい、美しさ

- ・個人商店が少なくなっています。地元に基づいた専門店がたくさんあり、個人商店でコミュニケーションを取りながらの買い物ができるといいと思います。
- ・街は整備されてきていますが、人とのつながりが少なくなっています。「街が好き」「街に住んでいる」と実感を持てるような場や機会が増えるといいと思います。
- ・タバコのポイ捨てなど区民のマナーが悪いと思います。例えば、子どもから高齢者まで幅広い世代が交流できる場をつくることによってマナーの改善ができればいいと思います。
- ・街の美しさをみんなで実現するために、色々な景観要素がケンカしないようにルールをつくるいいと思います。

脱・地球温暖化

- ・公共交通の利用やカーシェアリング等により、マイカーを使わないよう意識を高めていくことが大事だと思います。
- ・街路樹が少ないので、舗装部分をなるべく減らし、みどりを増やしてほしい。
- ・まだLEDになっていない街路灯、電灯があるので、増やしていく必要があると思います。
- ・地球温暖化や環境配慮への意識が低いので、知識や情報を入手する環境を整えるとよいと思います。



テーマごとに話しあっている様子



テーマで出された意見を発表している様子